

令和 5 年 4 月 23 日

野田藤 花めぐり

参加者 44 名 距離 5km 難易度○

「のだふじ」は、今から約 600 年前からその美しさで知られ、室町幕府二代将軍足利義詮が詠んだ歌が有名で野田の地名が全国的なものになったと言われています。

その後、豊臣秀吉も見物に訪れるなど、「吉野の桜・野田の藤・高雄の紅葉」は三大名所と言われた。名の由来は、明治になって牧野富太郎が命名。つるがのだふじは、右巻きなのが特徴。(一海説)



聖天了徳院での集合写真

JR 環状線福島駅



スタート

①

福島公園

点呼・体操





日春日神社

② 下福島公園



かつて、ユニチカ(株)の主力工場跡で、第二次大戦等で野田藤は壊滅状態になったが、区民による再生活動により名所の藤の花が咲き誇るまでになった。2024年新五千円札に採用される。





③

玉川南公園

椅子取りゲームに勝って休憩中！



「のだふじ」の原木があったと言われる春日神社

④

えなり 江成公園



お寺の格言
発見

ビルの横を歩いたり、狭い路地を歩いたり、頭の上を電車が走ったり、都会のど真ん中を探検しました。

⑤

おおひらき

大開公園

松下幸之助創業の地記念碑（パナソニック発祥の地）



⑦

しょうてんりょうとくいん

聖天了徳院



⑧

上福島公園

体操

JR 福島駅

解散



今回は 46 期生が体験参加され、44 名と、最近では最高の人数となりました。飛行機雲のよく見える、青空でした。最初の公園では、あ～あ！もう藤の花終わった跡かと、がっかりしていましたが、段々と綺麗な野田藤に出会うことができ、大満足の日でした。今回も一海さんの解説により、発見いっぱいでした。西野さん道案内ご苦労様でした。